

令和6年7月11日  
総合教育会議資料  
教育部公民館作成

日野市・多摩市の「多様な学びの場構築広域連携事業」  
ひのたまULTLAプロジェクト

1 目的

日野市と多摩市の公民館が連携し、地域住民や団体等と協働しながら、「学校へ通いづらい子どもたち」を対象とした探究プログラムを、市内公立小中学校に通う児童・生徒に対して多様な学びの場として提供することで、子どもたちの興味関心を引き出すとともに、活動の場や居場所とする。

実施にあたっては、両市の地域資源を広域的に活用するとともに、居場所を見つけづらい大人たちなど多様な人たちも参加・交流しながら自分自身を掴み、その能力を発揮できる学びの場をつくる。

2 事業内容

- (1) 期間：令和6年度～令和8年度（3か年）
- (2) 予算：15,000千円 ※市長会多摩・島しょ広域連携活動助成金を活用（10/10）
- (3) 運営：株式会社SPACEに委託し、同社の探究学習プログラム「ULTLA」を適用

3 ウルトラプログラムについて

**U**niqueness  
**L**iberation  
**T**hrough  
**L**earning optimization and  
**A**ssessment

学びの最適化とアセスメントを通じた個性の解放

**自分らしい学びを作るためのステップ**

- アセスメントによる自分の学びのクセの把握
- オンラインプログラムで興味関心の芽を探索
- リアルプログラムで試行錯誤と深堀
- 自分らしい学びについてのリフレクション

**地域が学び場に変化するためのステップ**

- 地域の人たちへ声掛けをする
- 地域リソースによるプログラムの組み立て
- 地域外のエキスパートも含めたプログラム実施
- 地域内でのサポーターをネットワーキング

(株)SPACE 提供資料より抜粋

- 自らを知り、1人1人自分らしさを「大切」にする
- 特徴や特色の強さ「異才」から個々を生かす「個才」へ
- 様々なプログラムの体験・探究をきっかけに「自分の学び方に気づく」
- 地域人材や資源を活用して、地域のつながりを形成

4 先行事例

鎌倉市は、2021年度より「海」と「森」の地域資源を活用したプログラムを実施。

令和5年度の「森」プログラムでは、「波長による自己調整」をテーマとして、波長として捉えた照明や音楽を自己調整することで快適な環境を作り出す手段と表現を絵画やものづくりを通して探究。

令和6年度は、「石と意志」をテーマに実施予定。

5 スケジュール

1年目（令和6年度）	2年目（令和7年度）	3年目（令和8年度）
準備期間（ベースづくり）	プログラムの実施	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●リサーチラボの立ち上げ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・両市で10名程度</li> <li>・プログラムの企画等</li> </ul> </li> <li>●地域資源調査</li> <li>●アセスメントシステム構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)SPACEによる事業展開               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材、資源を活用</li> </ul> </li> <li>●リサーチラボの拡充               <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーター、ナビゲーター</li> </ul> </li> <li>●家庭・学校へフィードバック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総括</li> <li>●今後の展開検討               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ULTLAの成果を既存制度等に引き継ぐ</li> </ul> </li> </ul>